

第 2 回 吉 井 地 域 審 議 会

総合計画前期実施計画に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
吉井地域総合福祉センター (仮称) 建設事業	1	<p>総合福祉センターの建設については、吉井町の時に建設委員会を設置し、合併後も建設懇話会を発足させて決定してきた。23年度予算のなかで、実施設計まで完了しているが、設計の段階で、高齢者・障害者に十分に配慮した形で設計がされているか確認したい。</p> <p>また、デイサービスセンターの方は、現在事業を実施している社会福祉協議会と調整して、実際の利用者が使用しやすい設備にしていきたい。</p>	<p>福祉センターについては、障害者からお年寄りまでというコンセプトがありますので、その辺りは設計の段階で充分配慮している。</p> <p>また、旧吉井町の建設委員会の考えに沿った形で建設するということで、新しく発足した懇話会からも提言がありそれに沿った形での設計となっている。</p>
多胡碑周辺重要遺跡範囲確認事業	1	<p>多胡碑は国宝に一番近い、重要な文化財であると認識している。価値も高く、事業計画の中でも重点事業の一つとして挙げられている。しかし、24年度の予算が35,000円という寂しい予算である。国の補助金、県の補助金等を有効に活用して、効果的な事業を展開出来るよう進めたいとのことだが、その見解についてお聞きしたい。</p>	<p>多胡碑は国の特別史跡であり、大変価値のあるものである。多胡郡衙及び関連遺跡の場所を明らかにすることは多胡碑の史跡としての価値を更に高め、重要な調査であると認識している。ご指摘のように今年度現地での調査費というものが予算化していないが事業は継続している。今後も現地調査の実施に向けて調整していきたい。</p> <p>国・県もこの調査の重要性はご理解いただいているので、今後補助金という形で協力を働きかけ、協議していきたい。</p>
	2	<p>非常に財政が厳しいということで説明を受けている。今後、補正予算で対応できるか。</p>	<p>多胡碑の重要度は認識しており、なるべく早く調査を進めることは共通理解となっている。国・県とよく話を詰めながら事業を推進したい。</p>
	3	<p>平成23年度に実施した調査結果はどういう形で報告したのか。また、今後調査は10ヵ年計画ということだが、見直しをお聞きしたい。</p>	<p>今回の調査で、郡衙の跡は発見されなかった。今後発見された場合には報道等をおこなうが、調査は今後も継続するので、その都度「出なかった」という形での報告は考えていない。地元に対しては今回の調査がある程度進んだ段階で説明会を行った。</p> <p>今後の見直しについては、調査自体はトレンチ調査に全体で約4年間を要すると見込んでいる。昨年度23年度で先行して実施したので、(次項へ続く)</p>

			(前項の続き) この調査にあと3年ほどかかる。その後、結果を踏まえての追加調査を含めて全体で10年間ということである。
	4	地域全体にも興味を持っている人もいますので、もっと情報公開してもらいたい。郡衙跡が見つかるかどうかよりもその調査によって、昔の生活等が分かることの方が大切ではないか。ほとんどの人は調査していること自体知らない。その辺の情報を広報紙に掲載するなど、広報活動をしてもらいたい。	【要望】
	5	多胡碑の「ゆるキャラ」等を作って、子供から大人まで皆で親しみをもって歴史的価値を認識していけるようにアピールできないものか。	すでに「タゴピー」というキャラクターがある。着ぐるみは作製していないので、デザイン的なものであるが、今年の春の多胡碑展の時も「タゴピーによる多胡碑展」という名称で使用し、展示のパネル等に使用している。まだまだ、PR不足の面もあるので、今後も親しみを持てるキャラクターで説明していくなど企画していきたい。
吉井中央公園（仮称）整備事業	1	吉井中央公園（仮称）整備事業の進入路の構想においては、両側歩道と横断歩道、場所によっては歩行者用の信号などにしっかり取り組んでいていただきたい。	【要望】

その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
合併後の地域振興について	1	合併した旧市町村の地域振興について、市の基本的な考え方を伺いたい。	「新市基本計画」に基づき、合併後のまちづくりを総合的にかつ効果的に推進することによって、新高崎市の速やかな一体性の確立や新高崎市の均衡ある発展を推進していくことが大切になると考えている。「新市基本計画」には、本日審議いただいた前期実施計画の7事業に加え、後期事業として、吉井新町公園（仮称）整備構想が計画されている。また、県事業として国道254号バイパス整備事業や新高崎市の南玄関としての機能を高めるための吉井インターチェンジアクセス道路の整備事業が重点事業として盛り込まれている。これらの事業を社会経済情勢の変化や住民の意見を尊重するなかで、事業推進していくことが大切と考えている。
	2	重点事業を実施する要は吉井支所にあると考える。吉井支所が元気であればこそ、合併してよかったという風が吹いてくると思う。事業を実施することも非常に重要であるが、市民の目線に立った吉井支所が元気になって地域住民の方々が合併して良かった、と言われる風をぜひ吹かせてもらいたい。	合併は、地域経済や社会環境が一帯地域で一つになるものと認識している。 合併によって、住民の施策の大枠はどの地域住んでいても同じ制度の中で一緒にやっている。その中で合併時に、それぞれの地域特性を活かすことに配慮するという事で進めており、その中でご協議いただいたものが新市の建設計画や、新たな総合計画の方につながっている。これを一生懸命にやっていき、きめ細かく住民の方々の意見に耳を傾けながら進めていきたい。 また、どこが担当だからということではなく、支所と本庁の方のそれぞれの担当が一緒にやっている。支所の方にも頑張ってもらいたいとのご意見はありがたくいただきたい。
耕作放棄地対策	1	吉井町が合併前から実施していた耕作放棄地対策を減少させるための事業が合併後も吉井地域独自の事業として継続している。大変ありがたい。吉井町ではかなり定着している事業で、今後も継続していただき、他の地域でも広げていただきたい。 課題として事業があまり知られていない面もあり、農業委員は誰も知らない。特に農業関係の役員の方々に周知・説明をお願いしたい。	吉井地域農地景観再生事業は、吉井町時代から実施をしている事業で、耕作放棄地が地域の景観を損ねることから、耕作放棄地を解消し、花等を植えて地域の景観を保全していく事業である。面積に応じて補助金額は違うが9団体でこの事業に取り組んでいただいている。事業については4月1日の「よい地域だより」において周知している。農業委員さんには、改めて説明したい。

地震対策について	1	県が発表した地震被害想定で高崎市の死者が1,025人と出ている。これに対して危機対策室の見直しや、対策の変更の考えはあるのか。	高崎市の防災計画を作っている最中で、市の防災計画の基になる想定される被害というものを用意してあったが、点検をしなくてはならないが、基本的な計画に大きな影響を与えるものとは考えていない。震災は直下型地震の場合を含めて想定されており、幅広く考えていくなかの一つの資料として利用していきたい。
	2	木造住宅が非常に多いので耐震性を高めるような対策に対して補助をだしたらどうか。	一般の木造住宅では希望者に無料の耐震診断を実施している。その結果、耐震補強工事等の必要があれば、工事費についても補助制度がある。 ご質問いただいたということは市のPR不足の面もあるので、あらためて広報に努めていきたい。
	3	吉井地域における小中学校の耐震の調査、建物の耐震工事の予定は。	小学校のうち、南陽台小学校は耐震設計されている。残りの6校については、耐震補強の工事が必要である。中学校については全て耐震設計である。幼稚園は3園とも耐震補強が必要である。 今年度、幼稚園2園については耐震補強の工事に入っている。耐震補強が必要な建物については、高崎市の全体の補強計画の中で耐震性の低いものから順次補強工事を行っていく状況である。また、体育館等の屋内運動場については、旧吉井町時代に全て耐震補強工事が終了している。 吉井保育所の改築工事もこれから始まり現在準備中だが、それも耐震補強のため実施している。